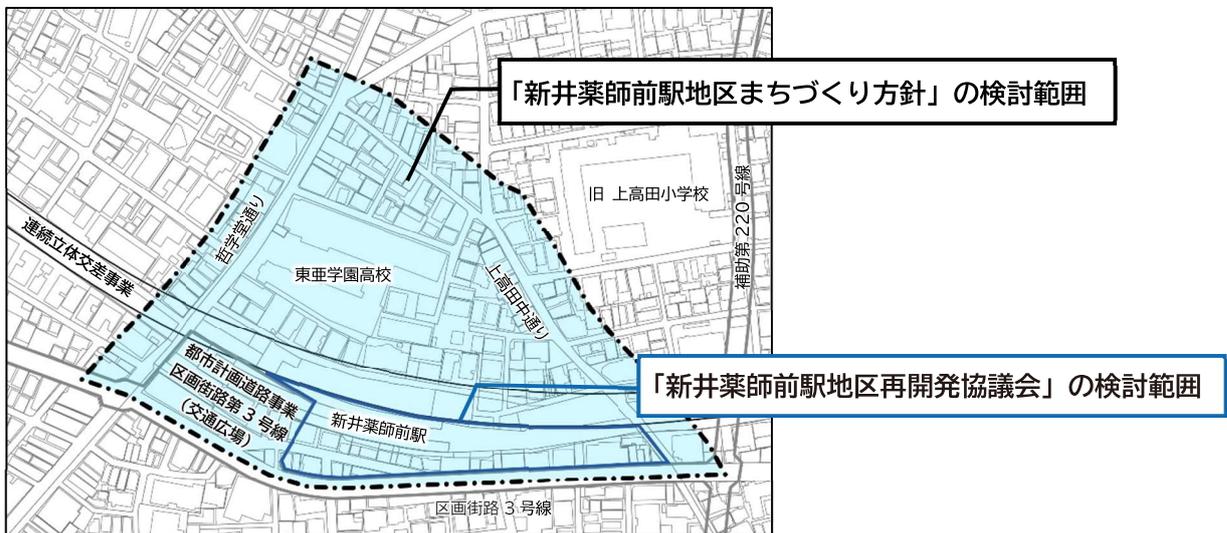


## 西武新宿線沿線まちづくり（新井薬師前駅周辺・沼袋駅周辺）の進捗状況について

### 1 新井薬師前駅周辺のまちづくりについて

#### (1) 主な経緯等

新井薬師前駅周辺では、連続立体交差化を契機に、新たなにぎわいの創出、交通基盤の強化、防災性の向上等を目指し、2017年（平成29年）に「西武新宿線沿線まちづくり推進プラン」を策定、歴史や文化の香るにぎわいある交流拠点の形成を進めている。



#### (2) 新井薬師前駅地区

新井薬師前駅周辺では、にぎわいと魅力あるまちを創出し、住環境の向上や商店街の活性化、安全で快適な買い物空間の形成を図るため、今年度より駅南北一体を「新井薬師前駅地区」と位置づけ、将来像と実現に向けた取り組みを示す「まちづくり方針」の策定を目指し検討を進めている。

①検討区域面積：約4.8ha

②地権者等：約400人（令和8年2月時点）

③今年度の到達点及び令和8年度の主な取り組み：

「新井薬師前駅地区まちづくり方針（骨子）」を作成【別紙1】、令和8年度は関係者及び関係機関との協議を行いながら、「新井薬師前駅地区まちづくり方針（案）」を検討し、その後、同まちづくり方針に基づく地区計画等の都市計画を検討

### (3) 新井薬師前駅南側街区

新たな顔となる拠点整備に向けて、令和2年に土地建物所有者が主体となり設立された「新井薬師前駅地区再開発協議会」が市街地再開発事業の検討を進めている。

①検討区域面積：約0.7ha

②権利者数：34人 協議会加入率：約68% (令和8年2月時点)

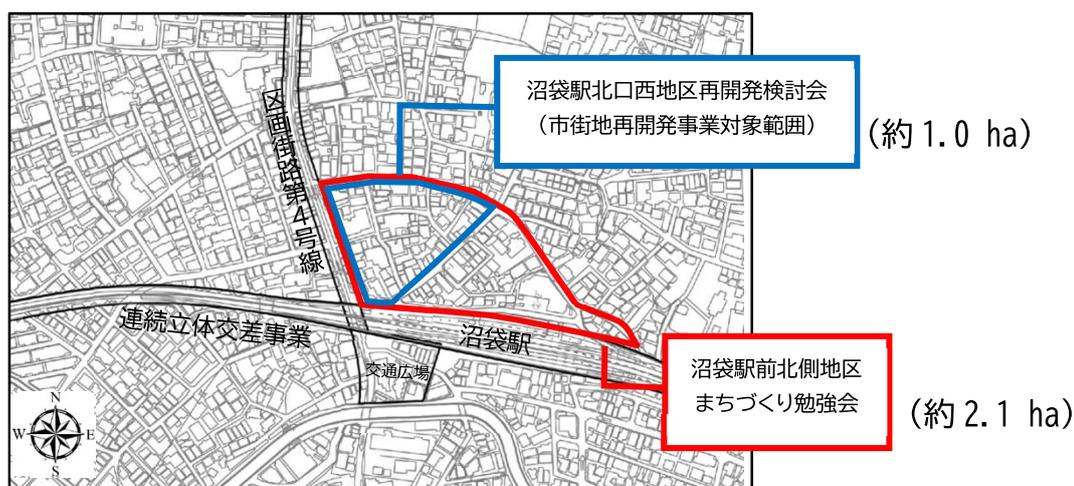
③今年度の到達点及び令和8年度の主な取り組み：

協議会は、令和6年度に事業協力者を選定、再開発準備組合の設立に向けて検討を進めている。

## 2 沼袋駅周辺地区のまちづくりについて

### (1) 主な経緯等

沼袋駅周辺では、連続立体交差化を契機に、新たなにぎわいの創出、交通基盤の強化、防災性の向上等を目指し、2017年(平成29年)に「西武新宿線沿線まちづくり推進プラン」を策定、2018年(平成30年)に「沼袋区画街路第4号線沿道地区地区計画」を決定、地域資源を活用したにぎわいのある生活拠点の形成を進めている。



### (2) 沼袋駅前北側地区

沼袋駅前の新たなにぎわいとなる拠点空間の形成と区画街路第4号線沿道の商店街との連続性に配慮したまちづくりを目指し、2018年(平成30年)に権利者による「沼袋駅前北側地区まちづくり勉強会」を発足、土地の高度利用や都市機能更新等の検討を進めている。

①検討区域面積：約2.1ha

②地権者等：約200人

③今年度の到達点及び令和8年度の主な取り組み：

令和7年度に当勉強会による「沼袋駅前北側地区まちづくり方針」の策定【別紙2】及び意向調査実施【別紙3】、令和8年度に同まちづくり方針に基づく地区計画等変更の検討

(3) 沼袋駅北口西地区

新たな顔となる拠点整備に向けて、令和6年に土地建物所有者が主体となり設立された「沼袋駅北口西地区再開発検討会」が市街地再開発事業の検討を進めている。

①検討区域面積：約1.0ha

②地権者等：92人 検討会加入率：約62%（令和8年1月時点）

③今年度の到達点及び令和8年度の主な取り組み：

令和7年度に検討会による市街地再開発事業に向けた機運醸成、施設計画等の検討、令和8年度に再開発準備組合の設立

# 新井薬師前駅地区まちづくり方針（骨子）

別紙1

## 1. まちづくりの背景と目的

新井薬師前駅周辺では、踏切の除却による交通渋滞や地区の分断の解消に向けた西武新宿線の連続立体交差事業による地下化工事や、新たな駅前広場の整備が進められています。これらの事業を契機としたまちづくりによる新たなにぎわいの創出、交通基盤の強化、防災性の向上などが、期待されています。

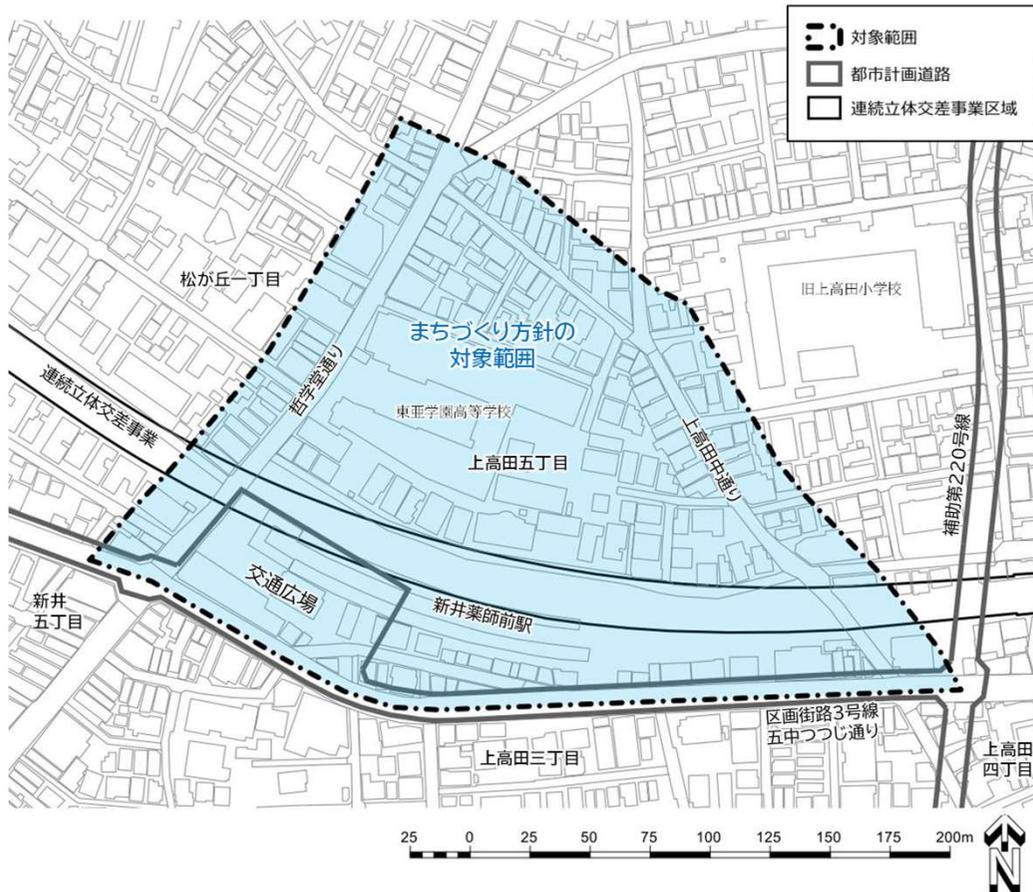
こうした動きを受け、令和2年には駅南側において地元権利者による「新井薬師前駅地区再開発協議会」が設立され、市街地再開発事業等の検討が行われています。また、令和5年度には駅北側において地元住民等によるまちづくり検討会が設立され、令和7年2月に「新井薬師前駅北側街区まちづくり方針」が取りまとめられました。

このような背景を踏まえ、新井薬師前駅周辺において、にぎわいと魅力あるまちを創出し、住宅の調和や商店街の活性化、安全で快適な買い物空間の形成を図るため、駅南側および駅北側を一体的に「新井薬師前駅地区」と位置づけ、地区の将来像と、その実現に向けた取り組みを示す「まちづくり方針」を策定します。

今後は、このまちづくり方針をもとに駅南北一体のまちづくりのルールとなる地区計画の策定を目指してまいります。

## 2. まちづくり方針の対象範囲

まちづくり方針の対象範囲は、上高田三丁目、上高田四丁目、上高田五丁目、松が丘一丁目及び新井五丁目各地内で、「哲学堂通り沿道」、「上高田中通り沿道」、「五中つつじ通り」に囲まれた範囲とします。



## 3. まちづくりの方向性

### 上位関連計画

- ・中野区都市計画マスタープラン(令和4年改定)
- ・西武新宿線沿線まちづくり計画(平成21年)
- ・西武新宿線沿線まちづくり整備方針(平成27年)
- ・西武新宿線沿線まちづくり推進プラン(平成29年)

### 地区の魅力と課題

#### ■魅力

- ・ 駅に近く良好な住環境
- ・ 鉄道地下化を契機としたまちの発展

#### ■課題

- ・ 鉄道による地区の分断の解消
- ・ 道路や歩行者空間の改善・安全性の向上
- ・ 立地の良さを活かした土地活用
- ・ 基盤整備に合わせた街並みづくり
- ・ バランスの取れた年代構成

### まちの将来像

多様な世代の人々が  
安心して暮らし、集い、交流し、にぎわいを生み出すまち

### まちづくりの基本方針

#### 方針1: 安心して暮らせる安全なまち

「安心・安全」の確保をまちづくりの基本と考えながら、交流拠点として利便性が高く、にぎわいと暮らしが調和した、子供から高齢者などだれもが安心して住み、買い物し、交流できる、安全、快適なまちを目指します。

#### 方針2: 便利で魅力的な交流拠点形成

駅近隣の恵まれた立地条件を活かし、土地利用の高度化や共同建替えによる都市機能の導入、良好な街並みの誘導などにより、地区の魅力や利便性を向上し、多くの人が集まる『交流拠点』を形成します。

#### 方針3: 回遊促進によるにぎわいづくり

鉄道地下化や駅前広場整備、駅南北一体となった都市機能の誘導等に合わせて、駅南北の回遊性を高め、人の流れを生み出すことで、にぎわいを創出し、新たな居住者、来訪者を生む好循環の形成を図ります。

# 新井薬師前駅地区まちづくり方針（骨子）

## 4. まちづくりの基本方針の考え方

新井薬師前駅周辺では、西武新宿線の連続立体交差事業により鉄道の地下化が進み、踏切の除却や交通渋滞の解消など、大きな変化の時期を迎えています。この機会を捉え、駅南北をつなぐ安全で快適な歩行者空間の創出や、暮らしやすさを基盤とした利便性・魅力の向上を目指すまちづくりが求められています。

地区内には、今後のまちづくりにおいて重要な役割を担う道路や空間が点在しています。現在、哲学堂通りは店舗や集合住宅が立ち並び、生活道路や通学路として多様な役割を果たしていますが、歩行者の安全性向上が課題です。上高田中通りは戸建て住宅が中心で、区間によって道路幅員が異なり、歩行者と車両の距離が近い箇所も見られます。駅北側道路は、新たな駅前空間として、にぎわいと調和した街並みの形成が期待されるエリアです。

また、鉄道上部空間については、安全で快適な歩行者空間や広場・オープンスペースの確保などの活用について、土地所有者である西武鉄道、事業施行者である東京都などの関係機関と調整を図りながら検討を進めます。

こうした現状と地域特性を踏まえ、以下の3つの基本方針をもとに、まちの将来像の実現を目指します。

### 安心して暮らせる安全なまち

- 多くの歩行者が利用する哲学堂通り、上高田中通り、駅北側道路、五中つつじ通りは、安心して歩けるよう歩行者空間を確保する。
- 住宅地は、駅直近の利便性を活かした土地の有効利用を誘導するとともに、住環境を保全しながら、災害時の安全な避難や歩きやすさの改善のため、生活道路の整備を行い、防災性の向上を図る。

### 便利で魅力的な交流拠点形成

- 駅前にふさわしい「にぎわいの核」となる交流拠点の形成に向け、市街地再開発事業等により土地の合理的かつ健全な高度利用を誘導し、暮らしを支える商業、住宅等の多様な都市機能の集積を進め、駅周辺の魅力向上を図る。
- 哲学堂通り、上高田中通り沿道や鉄道上部空間において、商業・業務・住宅等の多様な都市機能の立地を誘導し、駅南側の駅前拠点エリアと一体となって、交流拠点としての利便性向上を図る。
- 駅直近に多くの人が交流・憩い空間として活用できる広場空間を整備し、周辺の街並みやにぎわいの誘導によりまちの顔となる魅力的な駅前空間を創出する。
- 新たに駅前となる駅北側道路沿道は、にぎわいと暮らしが調和する魅力的な街並みの形成を図る。

### 回遊促進によるにぎわいづくり

- 駅南北をつなぐ新たな歩行者動線や広場空間などを整備し、回遊性や利便性の向上を図るとともに、商業・業務等の機能を誘導し、駅南北一体となったにぎわいづくりを行う。
- 地区の回遊を促進する道路として、哲学堂通り、上高田中通り、駅北側道路、五中つつじ通りを位置付けるとともに、駅南側の駅前拠点エリアにおいては、歩行者空間の整備を進め、沿道のにぎわいの創出を図る。

## 5. 土地利用の考え方

新井薬師前駅周辺まちづくり方針では、地区の特性を踏まえ、6つのエリアに分類し、エリアごとに土地利用の方針を定めます。なお、土地利用の実現にあたっては、関係者等と調整しながら進めていくものです。



|           |   |
|-----------|---|
| 哲学堂通りエリア  | 駅前立地を活かした商業・業務機能を誘導し、にぎわいと統一感ある街並みの形成を図るとともに、安全・安心な歩行者空間を創出する。  |
| 上高田中通りエリア | 生活とにぎわいが共存する住商複合の統一感のある街並みの形成を図るとともに、安全・安心な歩行者空間を創出する。  |
| 住宅・文教エリア  | 住宅と文教施設の調和を保ち、安全で快適な住環境を維持・向上し、誰もが安心して暮らせる街並みを形成する。   |
| 駅隣接エリア    | 駅直近の利便性を活かし土地利用を誘導し、にぎわいと住環境が調和する街並みの形成を図るとともに、安全・安心な歩行者空間を創出する。  |
| 鉄道用地エリア   | 鉄道地下化で生まれる空間において、駅機能を確保しながら、商業・業務・住宅等の機能を誘導し、駅隣接エリアおよび駅前拠点エリアと連携した街並みの形成を図る。また、安全・安心な歩行者空間や広場空間などを創出する。                               |
| 駅前拠点エリア   | 駅周辺の暮らしを支えるため、商業、住宅等の多様な都市機能を集積し、駅前にふさわしいにぎわいの核となる交流拠点形成を図る。そのため、市街地再開発事業等による土地の高度利用を誘導し、人々の憩いや交流の場となる広場空間や歩行者空間を整備して、駅前の利便性や回遊性を高める。 |

## 6. 基盤整備の考え方

- 安全で快適な歩行者空間や魅力的な広場など、快適な活気あふれる空間づくりを目指すとともに、土地利用の促進に向け、都市基盤（道路・広場）の整備を進める。
- 地区の回遊性向上を図るために、南北方向の歩行者動線を検討する。

# 沼袋駅前北側地区まちづくり方針

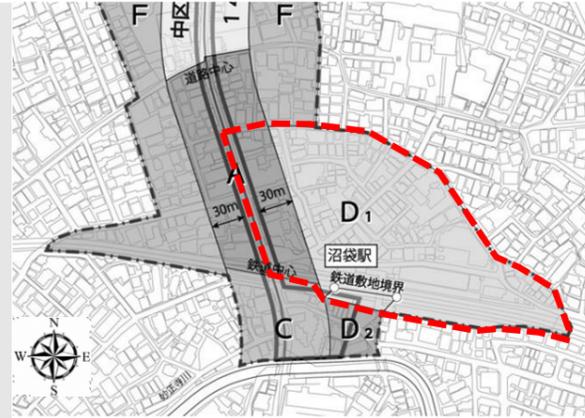
## (1) 沼袋駅前北側地区まちづくり方針とは

沼袋駅周辺では、西武新宿線の地下化や区画街路第4号線・駅前広場の整備など、都市基盤や交通ネットワークが大きく変わろうとしています。

一方で、買い物環境の改善や歩きやすい交通環境の整備、防災対策など、さまざまな課題も抱えています。

こうした状況を踏まえ、本方針では「にぎやかで便利な生活の拠点」を形成するとともに、「快適で安全に暮らし続けられるまち」の実現を目指します。

中野区都市計画マスタープランや西武新宿線沿線まちづくり計画と整合を図りつつ、地域の皆さんと共有した将来像を示すものです。



▲計画の対象範囲（赤枠の範囲）

## (2) 本地区の課題

本地区における現状から、今後のまちづくりを進めるうえでの主な課題を分野（商業・住宅、道路・交通、防災、みどり・景観）ごとに整理しました。

| 分野     | 本地区の現状    | 課題  |
|--------|-----------|---|
| 商業・住宅  | ①買い物      | 駅前のスーパーマーケットが鉄道の地下化工事に伴い閉店し、食料品や日用品の買い物が不便です。   |
|        | ②土地利用     | 西武鉄道の連続立体交差化事業と合わせて、区画街路第4号線の整備が進み、地区内においても市街地再開発事業の検討が始まっています。                           |
|        | ③居住者      | 地域の居住者は、20歳代、80歳以上及び外国人居住者が多く、子育て層の少ない地域です。   |
| 道路・交通  | ④道路の幅員    | 地区内の道路の幅員が狭くなっており、安全性や快適性が十分でない状況となっています。また、地区内の道路は私道が多く、禅定院通りより東側の街区内では袋小路や行き止まり道路もあります。 |
|        | ⑤駅へのアクセス  | 沼袋駅には徒歩でのアクセスが多くなっています。また、沼袋駅は日に約1.6万人が利用しています。   |
| 防災     | ⑥災害リスクの軽減 | 耐火・耐震性能の低い住宅があり、災害時に建物倒壊や活動困難になることが懸念されています。  |
| みどり・景観 | ⑦みどりとの調和  | 地区の周辺には平和の森公園や沼袋氷川神社などのみどりが豊かな環境になっています。  |



▲商店街の様子（商業・住宅）



▲地区内の細街路（道路・交通）



▲禅上院（みどり・景観）

## (3) まちの将来像

本地区の現状と課題から、以下の通りまちの将来像を定めました。

### 「新しい沼袋駅前の顔となる生活拠点」

- ・西武新宿線の地下化に伴うまちづくりにより、**にぎやかで便利な生活拠点の形成**を目指す。
- ・交通環境の整備や災害時にも安心して暮らせる生活環境整備、歴史・文化・自然による地域の特色を活かした、**快適で安全に暮らし続けられるまちの形成**を目指す。

## (4) まちの将来像の実現に向けて

### i) 基本的な考え方

#### ① 駅と駅からつながる商店街を中心としたにぎわい創出 （関連する分野：商業・住宅）

駅周辺や駅からつながる商店街を中心に、商業機能や交流の場を充実させ、にぎわいのある空間を創出します。

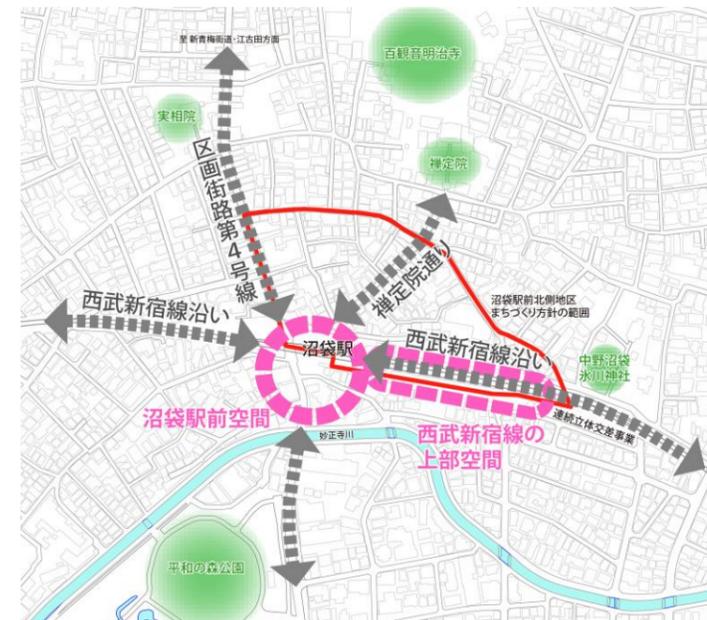
#### ② だれもが暮らしやすく安心できる住まいと環境の整備 （関連する分野：道路・交通、防災）

多様な移動手段に対応した交通ネットワークの整備を通じて、誰もが安心して移動できるまちづくりを進めます。また、防災機能と快適性を両立させた、だれもが安心して暮らせ、地域内外の移動のしやすさに配慮した生活環境整備を図ります。

#### ③ 地域の魅力をいかし、魅力が広がるまち （関連する分野：みどり・景観）

周辺に位置する公園や神社などの地域資源と調和するまちなみを誘導し、地域の特色や文化を活かした「沼袋らしさ」をまちづくりに反映することで、住みたい、商売したいと思えるまちづくりを推進します。

### ii) まちづくりの骨格



#### ①重要な軸:多くの人が利用する動線

沼袋駅からの主要な動線は多くの人が利用することから、まちづくりにおいても重要な軸と捉えます。

- ・区画街路第4号線
- ・禅定院通り
- ・西武新宿線沿い

#### ②重要な拠点:多くの人が集まる所

駅前空間は鉄道やバス等の公共交通機関の結節点であり、周辺地域からも多く集まることから、まちづくりにおいても重要な拠点と捉えます。

- ・沼袋駅前空間
- ・西武新宿線の上部空間

## (5) まちづくり方針

商業機能の充実、商店街の魅力向上、交流空間の設置などを通じて、地域の商業活性化を図り、にぎわいのある拠点を創出するため、まちの将来像の実現に向けた基本的な考え方にに基づき、全体方針とゾーン別方針を定めます。

### i) 全体方針

本地区の現状や課題を整理するうえで軸となる4つの分野ごとに、以下のように方針を整理しました。また、方針に関連のあるゾーンについても示しています。

#### 【商業・住宅】

- スーパーマーケットや商店街の個店など日常生活を支える店舗やサービス機能の誘導を図り、地域の買い物の利便性を高めます。(区画街路第4号線沿道など)



▲住宅棟の低層階に商業施設  
(ザ・モール 武蔵小山駅前)



▲物販店舗や飲食店が立地してにぎわう  
遊歩道(下北線路街)



▲イベントができる駅前広場  
(新小岩駅前)



▲駅前広場のにぎわい  
(武蔵小杉駅前)



▲石畳の舗装や見世棚がある門前通り  
(深川不動堂)



▲歩きやすくにぎわいのある遊歩道  
(下北線路街)

- 小規模な店舗が点在する現状を活かしつつ、歩いて楽しめる商店街の空間形成を通じて、地域に開かれたにぎわいの場をつくり出します。(駅前空間など)

- 周辺の閑静な住宅地との調和に配慮しつつ、子育て世帯等のあらゆる世帯の人々が生活する際に利便性の高い商業施設等の誘導を図ります。(禅定院通り沿道など)

#### 【道路・交通】

- 狭い道路を解消や段階的な道路整備・拡幅により、防災力を高め、安心して通行できる歩行者空間の形成を図ります。
- 駅周辺を鉄道、バスだけでなく自転車やシェアモビリティ等を活用し、交通結節点となる駅前広場を整備します。(駅前空間など)
- 駅から延びる道路を中心に、安心して歩ける歩行者空間や魅力的な通りとなるようにします。(西武新宿線沿道(上部空間を含む)など)



▲鉄道敷跡地を利用した遊歩道と道路  
(調布市)

#### 【防災】

- 老朽木造建物や旧耐震基準の建物の建替えを促進し、倒壊・延焼リスクを低減しながら、地震や火災に強い市街地を目指します。
- 一時滞留空間や緊急車両の通行の確保など、駅前空間や道路の防災対応力の向上を図ります。
- 安全な避難路の確保し消防活動困難区域の解消を図るために、防災上重要な路線の整備を行い、区画街路第4号線や既存道路とのネットワークを強化します。



▲建物を後退して建替えることで狭い道路を解消  
(中野区)

#### 【みどり・景観】

- 周辺の公園や寺社、妙正寺川などの環境とのつながりに配慮し、主要な道路での緑化を進めます。
- 大規模開発を行う事業者には、沿道や歩行者空間にみどりが配置された空間作りを求めます。(区画街路第4号線沿道、西武新宿線沿道(上部空間を含む)など)
- 建物の高さ・配置・デザインに一定の誘導を図り、統一感のある景観形成を目指します。(区画街路第4号線沿道など)

### ii) ゾーン別方針

#### 【区画街路第4号線沿道】

- 商店街が連続するにぎわいの沿道
- 歩いて快適で、安心できるまちの道
- 安心して暮らし続けられる、安全な建物とまちへ

#### 【禅定院通り沿道】

- 歩きやすく活気のある沿道
- 雰囲気のあるまち並みの形成

#### 【街区内側部分】

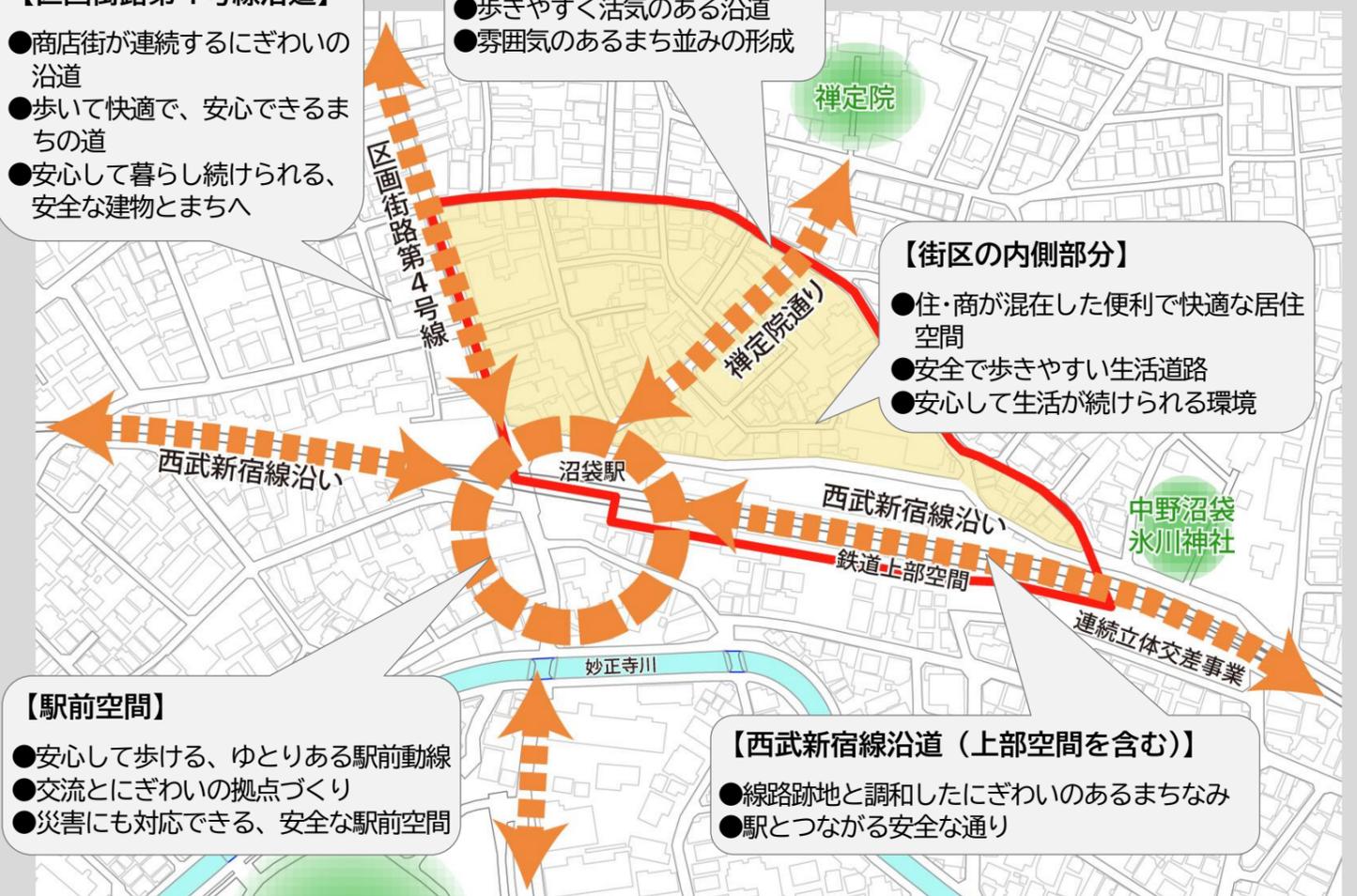
- 住・商が混在した便利で快適な居住空間
- 安全で歩きやすい生活道路
- 安心して生活が続けられる環境

#### 【駅前空間】

- 安心して歩ける、ゆとりある駅前動線
- 交流とにぎわいの拠点づくり
- 災害にも対応できる、安全な駅前空間

#### 【西武新宿線沿道(上部空間を含む)】

- 線路跡地と調和したにぎわいのあるまちなみ
- 駅につながる安全な通り



# 沼袋駅前北側地区まちづくり方針（案）意向調査 結果

お問合せ

中野区 まちづくり推進部 まちづくり事業課 担当：酒井、溝口、長谷川  
TEL:03-3228-8827(直通) FAX:03-3228-5417 E-Mail:numabukuro@city.tokyo-nakano.lg.jp

## 1 アンケートの目的

沼袋駅前北側地区では、西武新宿線の地下化や駅前道路の拡幅により、まちの環境が大きく変わろうとしています。これをきっかけに、よりにぎわいがあり暮らしやすいまちを目指した検討を進めています。

中野区では、地域の皆さんの声をもとに、将来のまちの姿をまとめた「沼袋駅前北側地区まちづくり方針（案）」（以下「本方針」という。）を作成しました。

本アンケートは、本方針を地区の皆様へ知っていただき、本方針や今後のまちづくりへのご意見を地区の皆様から頂くことを目的に実施しました。

## 2 アンケートの概要

|         |   |
|---------|---|
| 実施期間    | 令和7年11月29日(土)～12月22日(月)   |
| 調査対象者   | 沼袋駅前北側地区（下記図1～6）の土地や建物の権利者様（190名に配布）  |
| 回答方法    | 調査用紙と同封資料「沼袋駅前北側地区まちづくり方針（案）概要版」を読んで、<br>・調査用紙への直接記入し回答<br>・調査用紙に記載されたWEBサイトで回答 |
| 回答者数(率) | 66名(34.7%)  |



今回のアンケートは1番の「区画街路第4号線沿道」に土地や建物を所有する権利者様の回答者数が26名と最も多くなっており、また、5番の「西武新宿線沿線」は調査対象数22名に対して回答者数10名、6番の「地区東側中央」は22名に対して9名となっており、地区の東側からも多くのご意見を頂きました。

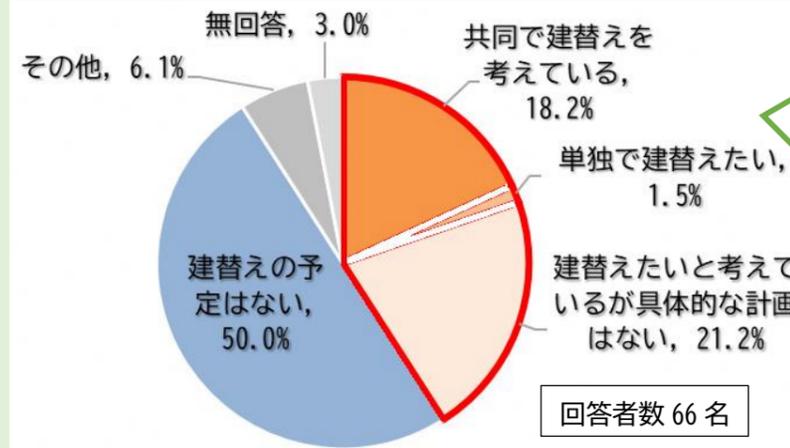
<区域別の回答者数※>

| 区域名            | 調査対象数 | 回答者数 |
|----------------|-------|------|
| 区画街路第4号線沿道(1番) | 81名   | 26名  |
| 禅定院通り沿道西側(2番)  | 8名    | 4名   |
| 地区西側中央(3番)     | 52名   | 11名  |
| 禅定院通り沿道東側(4番)  | 16名   | 3名   |
| 西武新宿線沿線(5番)    | 22名   | 10名  |
| 地区東側中央(6番)     | 22名   | 8名   |
| 無回答            | —     | 4名   |

※複数の場所に土地や建物を所有する権利者様がいらっしゃるため、調査対象数の合計がアンケートを配布した190名と一致しない。また、区域別の回答者数の合計もその他の質問の回答者数の66名と一致しない。

## 3 建替えに関する質問

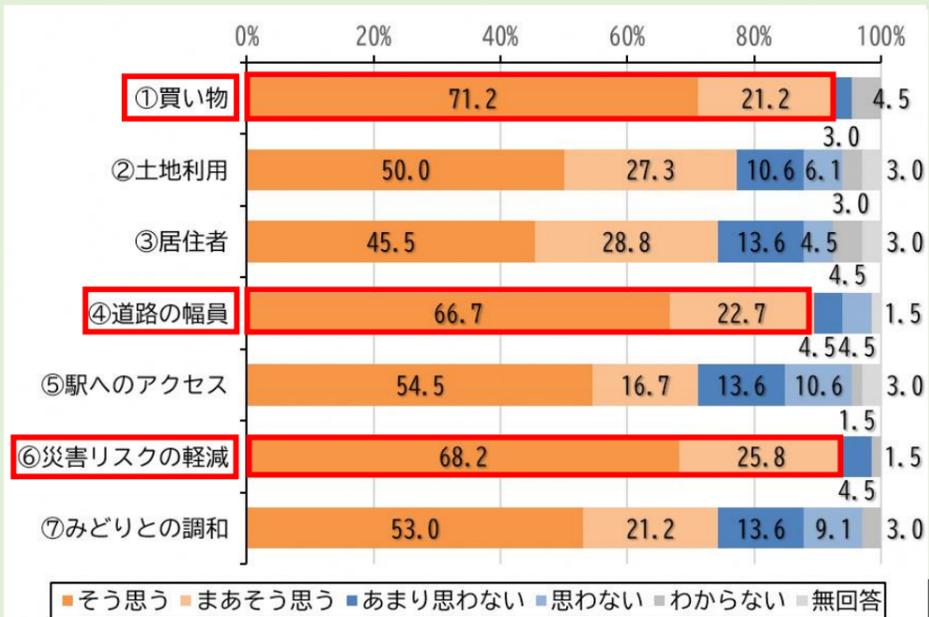
権利をお持ちの場所の建替え予定についてお教えてください。(ひとつだけに○)



「共同で建替えを考えている」「単独で建替えたい」「建替えたいと考えているが具体的な計画はない」を合計すると40.9%となり、約4割の方が建替えに関して意欲がある結果となりました。特に「区画街路第4号線沿道」に土地や建物を所有する権利者様から、上記の建替えに関して意欲のある回答を頂きました。

## 4 本地区の現状・課題に関する質問

本地区の現状と課題として、項目別(①～⑦)にあなたの感じ方に近いものを選んでください。(項目別にひとつだけ○)



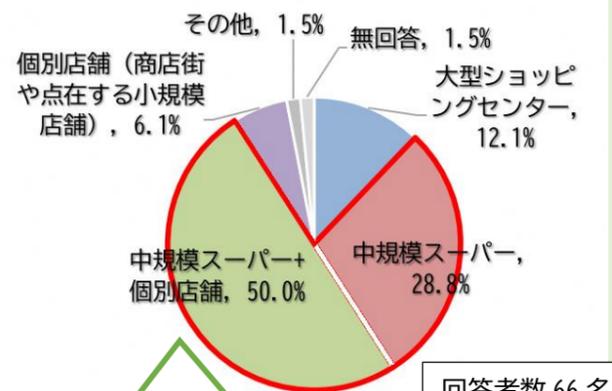
「そう思う」「まあそう思う」を合計すると、①買い物、④道路の幅員、⑥災害リスクの軽減の項目は約9割と高い割合となっており、本地区の重要な課題として認識されています。

各項目の現状と課題の内容は別紙「沼袋駅前北側地区まちづくり方針（案）」の表面「(2)本地区の課題」を参照ください。

⑤～⑦の分野別のまちづくり方針に関する質問について、各分野別の方針の詳細な内容は別紙「沼袋駅前北側地区まちづくり方針（案）」の裏面「(5)まちづくり方針（全体）」を参照ください。

### 5 地区のにぎわいの創出（商業、住宅）の方針に関する質問

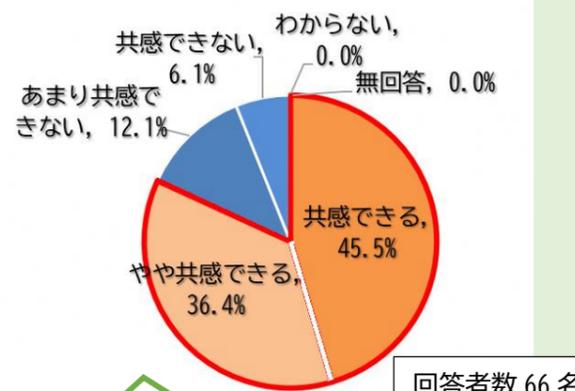
あなたが沼袋駅前北側に最もふさわしいと思うお店の形状に近いものをひとつお選びください。（ひとつだけに○）



回答者数 66名

「中規模スーパー」「中規模スーパー+個別店舗」を合計すると78.8%となり、約8割の方に中規模スーパーが本地区ではふさわしいと思われています。

まちづくりの方針として、駅前に広場やお店を増やし、人が集まりやすい「にぎわいのある空間」をつくることへあなたは共感できますか。（ひとつだけに○）

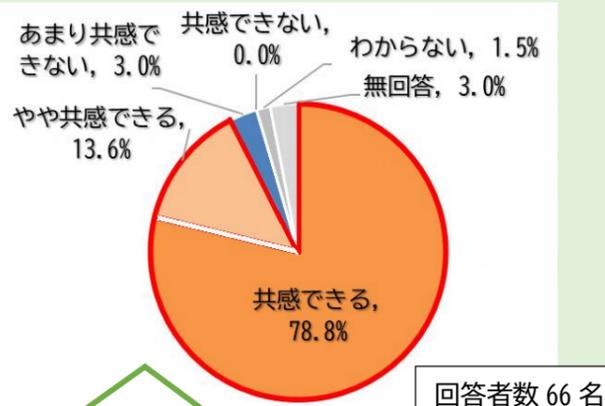


回答者数 66名

にぎわいのある空間の捉え方に個人差はありますが、「共感できる」「やや共感できる」を合計すると81.9%となり、約8割の方が当方針へ共感しています。

### 6 地区の生活環境整備（道路・交通、防災）の方針に関する質問

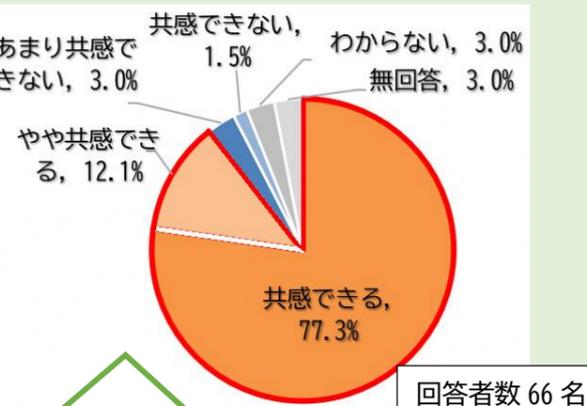
まちづくりの方針として、歩きやすく安全な道を整えるとともに、自転車やバスなども安心して利用できる交通環境をつくることへあなたは共感できますか。（ひとつだけに○）



回答者数 66名

「共感できる」「やや共感できる」を合計すると92.4%となり、他の方針より共感できた人の割合は高くなっており、約9割の方に交通環境の改善の必要性が強く認識されています。

まちづくりの方針として、狭い道路を広げたり、建物を地震や火事に強くしたりして、安心して暮らせるまちにすることへあなたは共感できますか。（ひとつだけに○）

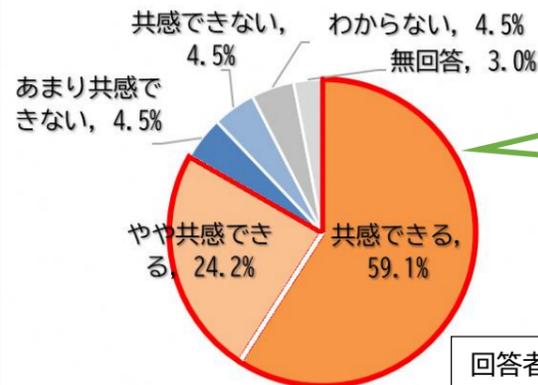


回答者数 66名

「共感できる」「やや共感できる」を合計すると89.4%となり、共感できた人の割合は高くなっており、約9割の方に交通環境の改善と同様に防災対策の必要性も強く認識されています。

### 7 地区の地域らしさの活用（みどり、景観）の方針に関する質問

まちづくりの方針として、寺社や公園が周囲にある特徴をふまえ、木や花などのみどりのスペースを増やすことについて、あなたは共感できますか。（ひとつだけに○）

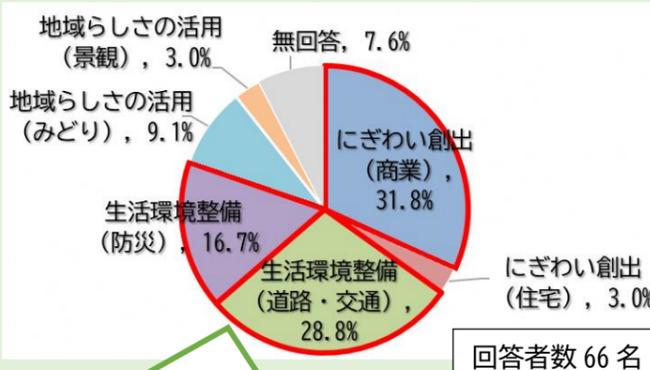


回答者数 66名

「共感できる」「やや共感できる」を合計すると83.3%となり、約8割の方に地区にみどりのスペースを増やす必要性が認識されています。

### 8 まちづくり全般に関する質問

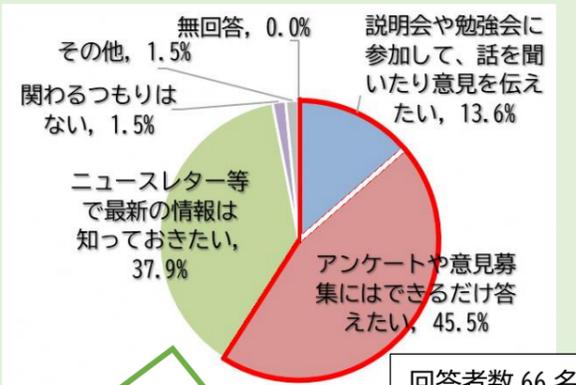
まちづくり方針（案）で示した分野の中で、あなたが特に重要だと思う分野をお答えください。（ひとつだけに○）



回答者数 66名

「にぎわい創出（商業）」が31.8%、「生活環境整備（道路・交通）」が28.8%、「生活環境整備（防災）」が16.7%となっており、買い物をする環境や安全な交通環境、防災対策を重視したいと考える人が多くなっています。

今後のまちづくりに、どのように関わりたいですか。（ひとつだけに○）



回答者数 66名

「説明会や勉強会に参加して、話を聞いたり意見を伝えたい」「アンケートや意見募集にはできるだけ答えたい」を合計すると59.1%となり、約6割の方がまちづくりに意見を伝えたいと考えています。

### 9 その他の主な自由意見

【商業】  
・買い物が便利な街になって欲しいです。  
・森の中に商店やベンチがある商業緑地のような駅前になると、交流が生まれて良いと思います。

【道路・交通】  
沼袋駅は中野や新宿へのアクセスが便利な立地ですが、道路が十分に整備されていないため、自転車の放置やバスの遅延等が見られます。

【みどり・景観】  
・駅周辺にみどりが増えると、カラスやハト等が増えないか不安を感じます。  
・現在の雑然とした街並みではなく、整った街並みになることを望みます。